

本校が目指す5年後の姿

1 学校の現状や課題

昭和18年、旧制秋田県立湯沢中学校として創立され、「師弟共励」を建学のこころとして、多くの有為な「人財」を輩出してきました。平成18年度より理数科が併設され、普通科と理数科の2学科編成になり、それぞれの科で各自の夢の実現に向け学習しています。

湯沢雄勝地区は県内でも人口減少と少子化が急速に進んでいる地区です。そのよう中で、本校は湯沢雄勝地域の進学を中心校として今後も地域住民や同窓生の御協力をいただきながら、小・中学校や大学との連携を深め、生徒や保護者の希望を実現し、地域の期待と信頼に応えられる学校であり続けることが求められています。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

少子化が進んだ場合には部活動や学校行事などにも影響が出てくることが予想されますが、地域と連携を強化しながら、特色ある教育活動を展開していく必要があります。

3 目指す生徒像及び学校像

自身のキャリア形成に積極的に関与し、高校卒業後も様々な機会を通して主体的に学び続けられる生徒の育成を目指します。また、キャリア教育の視点を重視した社会に開かれた教育課程を実施し、地域の皆様と協力しながら日本や世界にとって有用な人財を輩出するような、地域の皆様があこがれる学校となることを目指します。

4 5年間で達成を目指す具体的目標

学力の向上

学力を学校活動の中で身につけるべき力ととらえ、すべての学校活動を充実させます。そのために湯高力を核に据えながら生徒の学力の伸長を図ります。

* 湯高力とは、湯沢高校生に身につけてもらいたい力として校訓から導き出されたものであり、次の八つです。

a「知識・技能」 b「課題対応能力」 c「論理的思考力」 d「対話力」 e「協働力」 f「自己管理能力」 g「前向きにやり遂げる力」 h「公共心」

(1) 進路志望の達成と進学実績の向上

- 1 国公立大学現役合格者を希望者の60%
- 2 指定国立大学（東北大学や東京大学など9校）へ複数名の合格
- 3 スーパーグローバル大学に指定された私立大学（慶応大学や早稲田大学など14校）への複数名の合格
- 4 医学部医学科へ複数名の合格

(2) 部活動の強化

各部活動等の全国大会等での活躍

(3) 地域との連携の強化

具体的な取り組み

1 学力の向上

- (1) すべての学校活動で湯高力を核に据えて実施する
- (2) 50分7コマによる授業の充実
- (3) ICT機器の活用による主体的・対話的な学校活動の実施
- (4) 教科の探究活動と総合的な探究の時間の相互リンクによる探究活動の充実

2 進路志望の達成と進学実績の向上

- (1) 進路志望達成ができる授業の実現のために、常に授業改善を実施
- (2) 生徒のマインドセットの変更など進路意識の向上のために進路講演会等の実施
- (3) 土曜補習、放課後補習など目的を明示した補習の実施
- (4) 面談旬間等の設定による生徒面談の充実
- (5) 定期試験や模擬試験などの結果のフィードバックの精密化
- (6) 進路情報の提供による保護者との連携

3 部活動の強化

- (1) ガイドラインに沿った部活動指導のための研修
- (2) 適切な技術指導のための外部コーチの依頼
- (3) できる限りの施設設備整備と生徒活動への支援
- (4) 保護者への適切な情報提供による連携

4 地域との連携の強化

- (1) インターンシップとボランティアの積極的な実施
- (2) 各教科（総合的な探究の時間を含む）における探究活動による地域理解
- (3) 地域行事への積極的な参加
- (4) HPの充実など学校活動の発信を活発化
- (5) 社会に開かれた教育課程の実施のための研修